

令和7年度 土壌汚染処理技術フォーラム

工場跡地等 における

持続可能な 土壌汚染対策支援事業

工場跡地等における 持続可能な土壤汚染対策支援事業 とは

中小事業者の円滑な事業転換 と 持続可能な土壤汚染対策 の促進を目的として

土壤汚染がある工場跡地において、

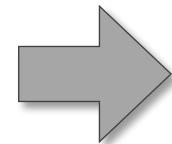
土壤の「3R」を実践しようとする土地所有者等を技術・費用の双方から支援

土地利用転換アドバイザー

土地の売主・買主 双方に
アドバイザーが助言・情報提供

法令で必要な対策
汚染を管理しながらの土地活用
土地取引に参考となる不動産鑑定
狭あいな土地での対策技術

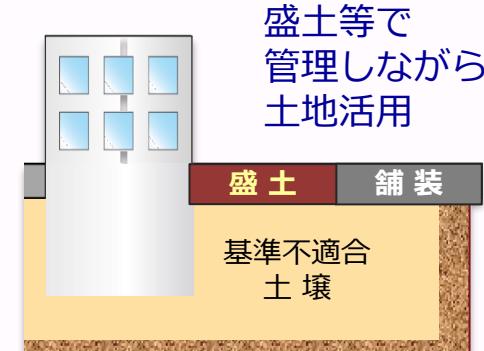
土壤汚染対策の専門家、
不動産鑑定士等の
チームで構成



助
言

被覆盛土支援

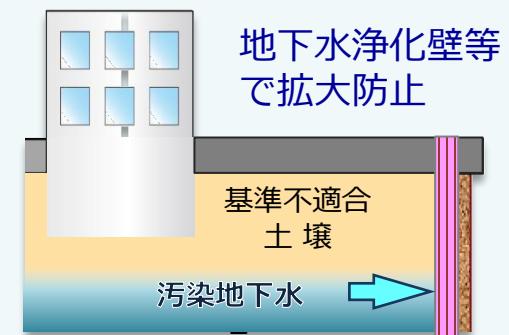
買主（開発者）が
基準不適合土壤を残して 土地活用



被覆盛土 相当費用 都が支援

地下水汚染拡大防止技術支援

地下水汚染の拡大を防止する
技術を 都が 公募・認定



狭あいな土地で効果実証
対策費用 都が支援

土地利用転換アドバイザー 制度の概要

相談
無料

中小事業者が東京都内に設置した工場(操業中・廃止後どちらでも)に
専門知識を持ったアドバイザーが訪問し、助言します

派遣依頼できる方

中小事業者が東京都内に設置した工場等の関係者で、以下のいずれかに該当

- 工場等を廃止した者、今後 廃止する予定がある者
- 土地の所有者等 ■ 工場等の建物及び土地の購入者(購入予定者も含む)

※土地の所有者・購入者等は、中小事業者以外の方も依頼可能です

助言内容

- 法令で求められる対策
- 狹あい地での対策技術
- 土壤汚染がある土地の不動産評価の考え方
- 掘削除去による土壤汚染対策
- 汚染土壤を管理しながらの土地活用

被覆盛土支援 制度の概要

目的 土地の売買にあたり、汚染土壤の全量掘削除去 という過剰な対策の慣例を見直す
基準不適合土壤を残して 管理しながら土地を利用する

工場跡地で 次の条件に該当する場合、施工費用 を支援します

被覆盛土 ▶▶ 盛土・アスファルト舗装・コンクリート舗装(基礎としての利用も可能)

支援の 条件	<ul style="list-style-type: none">■ 土地利用転換アドバイザー を利用している■ 都・区・市に 土壤汚染状況調査結果の報告書 を提出している■ 900 平方メートル以下の土地■ 法の形質変更時要届出区域 または 条例の要管理区域
	※ 要措置区域・要対策区域 は 対象外
対象者	上記の土地を 購入した者・返還を受けた者 ※工場等で 事業を行っていた方は対象外
補助金額	土壤汚染を残して被覆盛土をする土地 1 m² につき 4,445円 ※令和7年度時点

まずは 土地利用転換アドバイザーにお申し込みください

地下水汚染拡大防止技術支援 制度の概要

目的 地下水汚染拡大防止技術評価委員会 で認定した 地下水汚染拡大防止技術 の効果を検証

一定濃度を超える土壤汚染・地下水汚染(操業中・廃止後の土地どちらでも)に、
認定された技術で対策の実証を行う場合、その対策実証費用を支援します

支援の条件	<ul style="list-style-type: none">■ 土地利用転換アドバイザー を利用している■ 都・区・市に 土壤汚染状況調査結果の報告書 を提出している■ 地下水汚染拡大防止区域 相当の土地
対象者	上記の土地の所有者・管理者・占有者 上記の土地を購入した者 等 ※工場等で 事業を行っていた方も対象です
対策方法	地下水汚染拡大防止技術評価委員会で認定された技術 で施工
補助金額	対策実証費用 最大3,000万円

まずは 土地利用転換アドバイザーにお申し込みください

地下水汚染拡大防止技術支援 技術メニュー(工場廃止後) 1/2

技術名	申請者名	措置の方法	対象
1 バイオ栄養源EDCによる塩素系VOCの原位置バイオ浄化法	エコサイクル株式会社	原位置浄化	VOC
2 クロロクリン工法 原位置浄化（原位置分解）生物処理法	株式会社大林組	原位置浄化	VOC
3 BioJet工法	ケミカルグラウト株式会社	原位置浄化	VOC
4 TM-BioQuick [®] を用いる生物浄化（嫌気バイオ処理）	大成建設株式会社	原位置浄化	VOC
5 T-SoilReme [®] -Biobarrier（地下水汚染バイオバリア技術）	大成建設株式会社	透過性地下水浄化壁	VOC
6 バイオ栄養源EDC-Mによる六価クロム化合物の原位置バイオ不溶化法	エコサイクル株式会社	原位置不溶化	重金属
7 化学酸化剤を用いた原位置浄化と活性炭を用いた透過性地下水浄化壁のハイブリッド工法	株式会社 エンバイオ・エンジニアリング	原位置浄化 透過性地下水浄化壁	VOC
8 バイオメタガード工法	株式会社大林組	原位置不溶化 透過性地下水浄化壁	重金属
9 薬剤注入による汚染拡散防止壁工法	株式会社大林組	原位置不溶化 透過性地下水浄化壁	重金属
10 RNIPaによるVOC原位置浄化工法	株式会社タツノ	原位置浄化	VOC
11 Smart Cap TM 工法（原位置鉄粉処理）	ジオラフター株式会社	原位置浄化	VOC
12 Smart Cap TM 工法（原位置生物処理）	ジオラフター株式会社	原位置浄化	VOC

地下水汚染拡大防止技術支援 技術メニュー(工場廃止後) 2/2

技術名	申請者名	措置の方法	対象
13 電気発熱法を用いた原位置土壤地下水浄化による地下水汚染拡大の防止	国際航業株式会社	原位置浄化	VOC
14 バイオ栄養源HAR-CNによる原位置バイオ浄化法	エコサイクル株式会社	原位置浄化	シアン
15 化学酸化剤COA-Xによる原位置化学分解法	エコサイクル株式会社	原位置浄化	VOC
16 テラサーモ工法	株式会社テラサーモアジア	原位置浄化	VOC
17 打ち込み式スパージング井戸を用いるバイオスパージング	大成建設株式会社	原位置浄化	VOC
18 T-SoilReme®HeatBio (地盤加熱型の微生物浄化技術)	大成建設株式会社	原位置浄化	VOC
19 温促バイオ® (加温式原位置浄化技術)	株式会社竹中工務店	原位置浄化	VOC
20 Smart Cap™工法 (注入法による原位置鉄粉処理)	ジオラフター株式会社	原位置浄化	VOC
21 Smart Cap™工法 (注入法による原位置生物処理)	ジオラフター株式会社	原位置浄化	VOC
22 バイオ栄養源EDCシリーズによる透過性地下水浄化壁 (バイオバリア)	エコサイクル株式会社	透過性地下水浄化壁	重金属
23 天然素材である大豆ホエイを原料とした「ソイビオMA」を用いた、環境に優しいVOC浄化促進工法	昭栄薬品株式会社 中外テクノス株式会社	原位置浄化	VOC

本日 このあとのプログラム

令和6~7年に行つた 施工事例の紹介

1 Smart Cap™工法（注入法による原位置鉄粉処理）

ジオラフター株式会社

2 RNIPaによるVOC原位置浄化工法

株式会社タツノ

3 化学酸化剤を用いた原位置浄化と活性炭を用いた

透過性地下水浄化壁のハイブリッド工法

株式会社エンバイオ・エンジニアリング

地下水汚染拡大防止技術支援 技術メニュー

令和7年11月 操業中の事業場に適用できる技術 を新たに認定

技術名	申請者名	措置の方法	対象
操業中 1 原位置浄化（原位置分解）生物処理法／クロロクリン工法	株式会社大林組	透過性地下水浄化壁	VOC
操業中 2 バイオメタガード工法	株式会社大林組	透過性地下水浄化壁	重金属
操業中 3 薬剤注入による汚染拡散防止壁工法	株式会社大林組	透過性地下水浄化壁	重金属
操業中 4 原位置浄化工法：BioJet工法	ケミカルグラウト株式会社	原位置浄化	VOC
操業中 5 温促バイオ®	株式会社竹中工務店	原位置浄化	VOC
操業中 6 バイオ栄養源EDCによる塩素系VOCの原位置バイオ浄化法	エコサイクル株式会社	原位置浄化	VOC
操業中 7 化学酸化剤COA-Xによる原位置化学分解法	エコサイクル株式会社	原位置浄化	VOC
操業中 8 バイオ栄養源HAR-CNによるシアン化合物の原位置バイオ浄化法	エコサイクル株式会社	原位置浄化	シアン
操業中 9 バイオ栄養源EDC-Mによる六価クロム化合物の原位置バイオ不溶化法	エコサイクル株式会社	原位置不溶化	重金属
操業中 10 PlumeStop®・S-MicroZVI®・ATV1株コンソーシアを用いた地下水バリア工法	株式会社 エンバイオ・エンジニアリング	透過性地下水浄化壁	VOC

技術メニュー 操業中事業場の条件

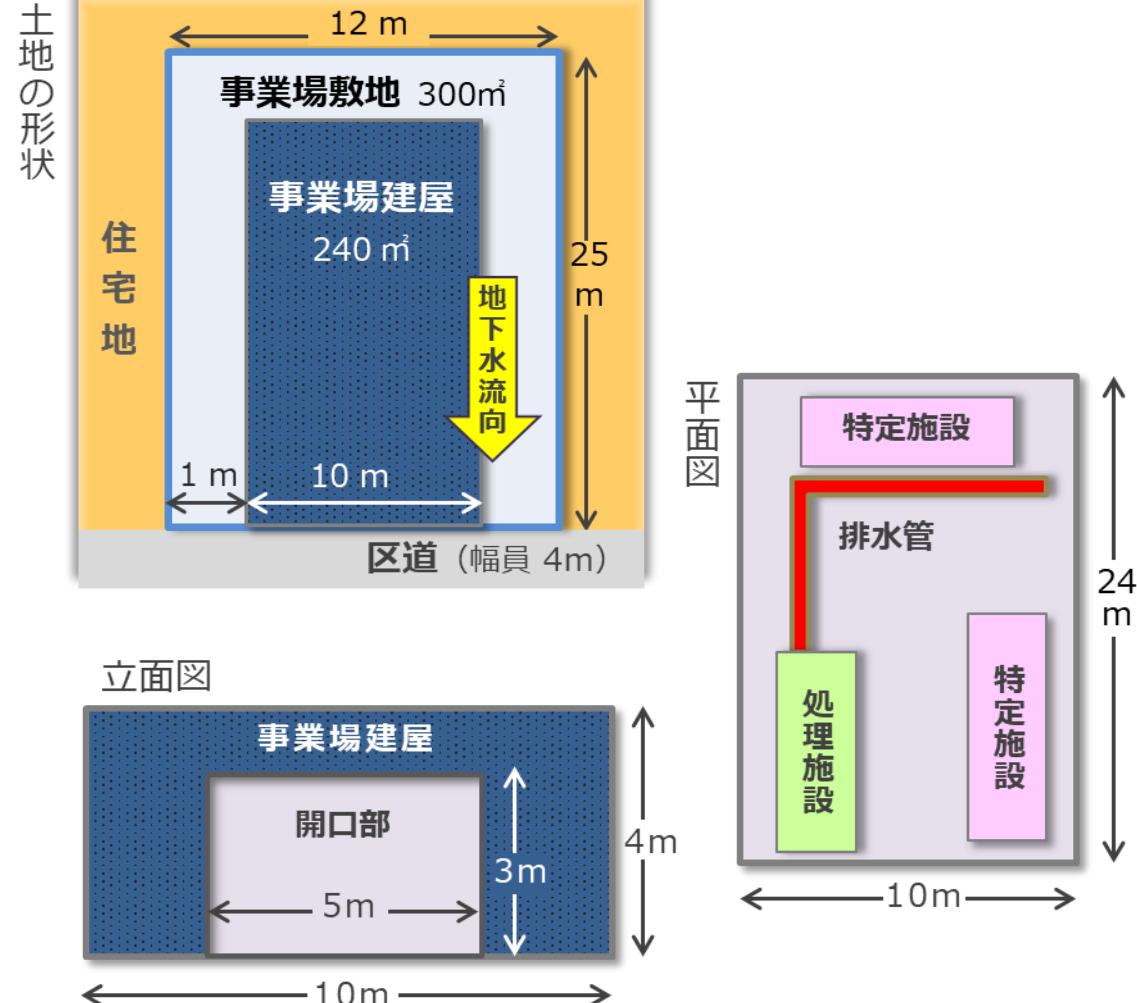
※汚染状態：VOC／重金属、東京低地／武藏野台地 それぞれ設定

・操業中の事業場

- 土地の形状**
- ・敷地 300m² (縦25×横12m)、建屋 240m² (縦24×横10m)
 - ・3辺を 閑静な住宅地 に囲まれ、前面は 幅4mの区道 に接する
 - ・建屋周囲に 幅1mの空地 (未舗装) があり、対策に利用可能
 - ・地下水は 黄色矢印の向きに緩やかに流れる

- 建物の形状**
- ・搬入口 高さ3 ×横 5m (建屋内に搬入できる機械のサイズ)
 - ・天井高 4 m (施工用機械の可動範囲) 　・床面 コンクリート
 - ・特定施設 2か所 (移動は不可)
 - ・排水が 地下排水管経由で 処理施設 に流入し、下水道に放流

- 事業場の操業**
- ・事業場は月曜から土曜まで操業 (日曜・祝日は定休日)
 - ・建屋内の対策施工は 日曜、又は 連休を含む 1週間程度 で行う
 - ・建屋外での対策施工は制限なし
 - ・操業中は排水が床にこぼれる懸念があり、
床面のコア抜き作業は、施工後に 排水が流入しない措置が必要



技術メニュー 操業中事業場の条件

東京低地の汚染状態

ケース ⑨

深度	テトラクロロ エチレン (mg/L)	クロロ エチレン (mg/L)
表層	0.18	0.001
GL-0.5m	0.22	0.001
GL-1m	0.24	0.001
GL-2m	0.18	0.003
GL-3m	0.072	0.013
GL-4m	0.081	0.028
GL-5m	0.12	0.041
GL-6m	0.33	0.052
GL-7m	0.15	0.036
GL-8m	0.007	0.001
GL-9m	0.005	ND
GL-10m	ND	ND
地下水	0.18	0.022

ケース ⑩

深度	シアノ 化合物 (mg/L)
表層	2.1
GL-1m	1.7
GL-2m	0.4
GL-3m	0.6
GL-4m	1.6
GL-5m	2.9
GL-6m	3.8
GL-7m	1.5
GL-8m	0.1
GL-9m	ND
GL-10m	ND
地下水	3.7

ケース ⑪

深度	六価クロム 化合物 (mg/L)
表層	3.1
GL-1m	2.5
GL-2m	0.83
GL-3m	1.3
GL-4m	3.2
GL-5m	4.5
GL-6m	5.1
GL-7m	3.3
GL-8m	0.12
GL-9m	ND
GL-10m	ND
地下水	3.0

VOC

シアノ

六価クロム

武藏野台地の汚染状態

ケース ⑬

深度	テトラクロロ エチレン (mg/L)	クロロ エチレン (mg/L)
表層	0.001	ND
GL-0.5m	0.002	0.001
GL-1m	ND	ND
GL-2m	0.007	ND
GL-3m	0.010	0.001
GL-4m	0.011	ND
GL-5m	0.008	0.002
GL-6m	0.022	0.002
GL-7m	0.057	0.007
GL-8m	0.18	0.015
GL-9m	0.11	0.028
GL-10m	0.065	0.013
GL-11m	0.071	0.011
GL-12m	0.050	0.008
GL-13m	0.021	0.001
GL-14m	0.012	ND
GL-15m	0.009	ND
GL-16m	0.002	ND
地下水	0.12	0.015

ケース ⑭

深度	シアノ化合物 (mg/L)	(mg/kg)
表層	0.3	100
GL-1m	0.1	80
GL-2m	0.4	60
GL-3m	0.6	20
GL-4m	ND	10
GL-5m	0.7	ND
GL-6m	1.2	ND
GL-7m	2.4	ND
GL-8m	1.5	ND
GL-9m	0.8	ND
GL-10m	0.2	ND
GL-11m	ND	ND
GL-12m	ND	ND
地下水	1.2	—

ケース ⑮

深度	六価クロム化合物 (mg/L)	(mg/kg)
表層	0.12	3000
GL-1m	0.16	1100
GL-2m	0.10	500
GL-3m	0.045	ND
GL-4m	0.84	ND
GL-5m	1.1	ND
GL-6m	0.62	ND
GL-7m	1.7	ND
GL-8m	2.1	ND
GL-9m	1.3	ND
GL-10m	0.76	ND
GL-11m	0.18	ND
GL-12m	0.11	ND
GL-13m	0.020	ND
GL-14m	0.066	ND
GL-15m	0.030	ND
GL-16m	ND	ND
地下水	3.0	—

VOC

シアノ

六価クロム

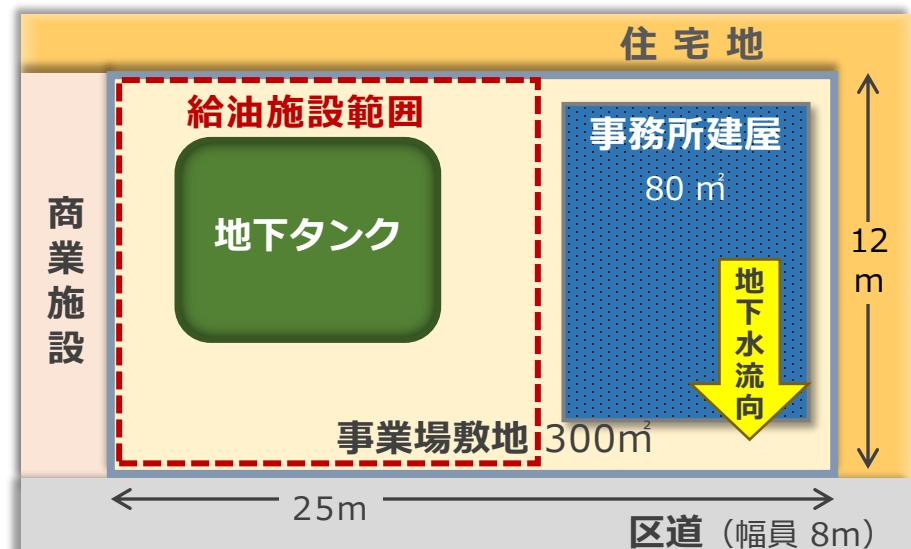
技術メニュー 操業中事業場の条件

※汚染状態：VOC（主にベンゼン）、東京低地／武藏野台地 それぞれ設定

- 土地・建物の形状**
- ・敷地 300m^2 （縦 $12\times$ 横 25m ）の **ガソリンスタンド**
 - ・3辺を 住宅地 及び 商業施設 に囲まれ、前面は 幅 8m の都道 に接する
 - ・給油施設の 深度 5m に 地下タンク が存在
 - ・給油施設範囲 に 土壌汚染が確認されている
 - ・事務所として使用する建屋 80m^2 が存在（汚染のおそれが少ない土地、土壌調査未実施）
 - ・地下水 は 黄色矢印の向きに緩やかに流れる

- 事業場の操業**
- ・全面改装のため 長期休業中
 - ・地下タンクはガソリン抜き取り、洗浄済み
 - ・改装作業は 8時から17時までであり、以降の時間に 対策施工が可能
 - ・1週間程度 で施工する必要がある
 - ・改装作業は排水が床にこぼれる懸念があり、
床面のコア抜き作業は施工後に排水が流入しない措置が必要

平面図



技術メニュー 操業中事業場の条件

東京低地の汚染状態

ケース ⑫

深度	ベンゼン (mg/L)
表層	0.006
GL-0.5m	0.007
GL-1m	0.013
GL-2m	0.015
GL-3m	0.093
GL-4m	0.15
GL-5m	0.49
GL-6m	0.082
GL-7m	0.047
GL-8m	0.013
GL-9m	0.008
GL-10	ND
地下水	0.37

武藏野台地の汚染状態

ケース ⑯

深度	ベンゼン (mg/L)	深度	ベンゼン (mg/L)
表層	0.006	GL-9m	0.12
GL-0.5m	0.007	GL-10m	0.021
GL-1m	ND	GL-11m	0.011
GL-2m	ND	GL-12m	0.005
GL-3m	0.007	GL-13m	ND
GL-4m	0.003		
GL-5m	0.017		
GL-6m	0.11		
GL-7m	0.13		
GL-8m	0.18		
地下水	0.37		

本日 このあとのプログラム

新たに認定された操業中の事業場に適用する技術 の紹介・ポスターセッション

操業中 1	原位置浄化（原位置分解）生物処理法／クロロクリン工法	株式会社大林組
操業中 2	バイオメタガード工法	株式会社大林組
操業中 3	薬剤注入による汚染拡散防止壁工法	株式会社大林組
操業中 4	原位置浄化工法：BioJet工法	ケミカルグラウト株式会社
操業中 5	温促バイオ [®]	株式会社竹中工務店
操業中 6	バイオ栄養源EDCによる塩素系VOCの原位置バイオ浄化法	エコサイクル株式会社
操業中 7	化学酸化剤COA-Xによる原位置化学分解法	エコサイクル株式会社
操業中 8	バイオ栄養源HAR-CNによるシアン化合物の原位置バイオ浄化法	エコサイクル株式会社
操業中 9	バイオ栄養源EDC-Mによる六価クロム化合物の原位置バイオ不溶化法	エコサイクル株式会社
操業中 10	PlumeStop [®] ・S-MicroZVI [®] ・ATV1株コンソーシアを用いた地下水バリア工法	株式会社エンバイオ・エンジニアリング